

もりふれ倶楽部通信 NO. 6 2

ニホンヒキガエル？アズマヒキガエル？ しまねに生息するのはどっち？

NPO 法人もりふれ倶楽部 理事 池田友紀



ヒキガエルに出会ったことはありますか？

実際に見たことはなくても、歌舞伎や浮世絵で見られる「ガマの妖術使い」や童話「おやゆびひめ」などに登場したりしているので、どんなカエルかはイメージがつくのではないのでしょうか？

「ヒキガエル」と一言で言い表しているものの、いくつかの種類がいます。

島根県に生息するヒキガエルははたして何ヒキガエルなのでしょう？

1. 残雪の中はじまるカエル合戦

春まだ浅い 3 月、自分のホームグラウンドである「飯南町ふるさとの森」では冬眠から覚めたヒキガエルが水たまりをめざしてやってきます。



その目的は繁殖のため。

オスが先にやってきて、夜になるとメスを呼んで誘います。

ところで、ヒキガエルの鳴き声、聞いたことありますか？その風体に似合わず「クッククック・・・」と、とてもはかなげでかわいらしい鳴き声なんです。

そして、去年の秋から卵でぱんぱんになったおなかをかかえたメスがやってくると、待っていたオスたちは我先にメスに抱きつこうとして、すったもんだの大乱闘。



下の大きい方がメスで、抱きついている方がオス

その様子は「カエル合戦」と形容されるほど激しいものになります。

間違えてオスに抱きついたり、繁殖する水辺環境によっては魚やイモリに抱きついたりすることもあるそうです。

そして合戦が終わったあとは・・・



おびただしい数の卵塊が！

上記の写真は産卵後数日後のもの。水分を含んで、だんだんとぶよぶよになっていきます。

ちなみに写真の左に写っているのは合戦に疲れ果て、人間（私）が近づいても逃げる気力も体力もないオスです。

産卵して間もない時の卵塊はぷるぷる、つやつやです。



1つの卵塊には1500～14000個もの卵が入っています

そして長い！20mもの長さになるのもあるとか！？

1 つの繁殖場所での繁殖行動はおよそ 1 週間以内と短いため、なかなか観察するチャンスには恵まれません、繁殖活動のピークになると昼間でもその様子を見ることができます。もし近所に浅い池や大きめの水たまりなどがあれば来年の早春、チェックしてみてください。

2. しまねには 2 種類のヒキガエルがいる！？

ヒキガエル科は世界中で 410 種とされ、日本では以下の 5 種が確認されています。

ミヤコヒキガエル *Bufo gargarizans miyakonis*

ナガレヒキガエル *Bufo torrenticola*

ニホンヒキガエル *Bufo japonicus japonicu*

アズマヒキガエル *Bufo japonicus formosus*

オオヒキガエル (特定外来生物) *Rhinella marina*

【日本爬虫両棲類学会・日本産爬虫両生類標準和名リスト (2019 年 1 月 25 日版) より】

一般的に“ヒキガエル”というと西日本に生息する「ニホンヒキガエル」か東日本に生息する「アズマヒキガエル」のことを指します。

この 2 種、「え、どこがちがうの？」

というほどそっくりで見分けがつかないので、私は「関東で見つけたからアズマヒキガエル、島根は西日本だからニホンヒキガエル。」と、生息地で見分けておりました。

が、島根県には、2 種とも生息しているのです！

●ニホンヒキガエル・・・西日本に広く分布。紀伊半島南部～近畿地方西部，鳥取県日本海沿い～島根半島を除く中国地方，四国，九州全域とその周辺島嶼（見島・壱岐・平戸・五島列島・天草・甕島列島・屋久島・種子島など）に分布。

●アズマヒキガエル・・・北海道を除く東日本に広く分布。島根半島・鳥取県・近畿地方北部，志摩半島・紀伊半島中部，中部地方以東。

【国立研究開発法人 国立環境研究所 侵入生物データベースより】

島根県東部の北側、島根半島はアズマヒキガエルの自然分布域にあたるのです。

改めて調べてみると、図鑑にもしっかり分布域が掲載されているのに、「西日本だから」という思い込みで島根県で見るヒキガエルは全て「ニホンヒキガエル」だと思い込んでおりました・・・

そんなわけで、今後島根半島でヒキガエルに出会うことがあればしっかり見分けチェックしようと思います。

3. ニホンヒキガエルとアズマヒキガエルの違いはココ！



2016 年: 島根県にて



2012 年: 長野県にて

さあ、このヒキガエルの違いがわかりますか？

目の下にご注目。丸い模様みたいなものがありますね。

ここはカエル類の耳の部分にあたり、カエルには耳たぶや外耳がないので鼓膜がむき出しになっています。



この鼓膜の大きさが見分けるポイント！

要するに大きいか小さいかの違いですが、フィールドで出会った時は大きさの比較ができるわけではないので、正確には

目から鼓膜の距離が、鼓膜の直径より長いと同じくらい＝ニホンヒキガエル

目から鼓膜の距離が、鼓膜の直径より短い＝アズマヒキガエル



ということになります。

見わけポイントを知っていても、やはり野外で出会うヒキガエルの中には「どっちだろう・・・？」

と判断に迷う個体もあります。ニホンヒキガエルもアズマヒキガエルも人為移入が全国各地で起きているので、生息場所での安易な判断は間違いの元となる危険もあります。

カエル類のなかでもっとも分類が難しいとされるヒキガエル。今後種分化の研究が進むとまた分類が変わる可能性もありますが、今後ヒキガエルに出会うことがあったら鼓膜の大きさと目の距離をしっかりと確認して、見分けにチャレンジしてみてください。

4. きっと近くにいるはず！ヒキガエル

ヒキガエルは人家の庭や学校の校庭など、ちょっとした土と石（ブロック）、そして近くに水たまり程度の水場があれば棲んでいたりする、意外と身近なカエルなのです。（※ナガレヒキガエルは中部地方の山間地にすむのでめったなことでは出会えませんが・・・私もまだ見たことないです）

地上のどこにでも生息しているという謂われから、古事記では「国土の隅々まで知り尽くした存在」とされる物知りの神、多邇具久（たにぐく）として登場しています。

普段は石や落ち葉の下にもぐりこんでじーっと過ごしていますが、雨が降るとのそのそ出てくるので、出会う確率があがります。

ヒキガエルがいるということは、その場所はヒキガエルの食べものとなる昆虫などの小動物が沢山おり、そうした生きものたちが過ごせる自然環境が保たれているということなので、もしヒキガエルを見かける場所があったら、その場所を大切にしていってくださいね。

※注意！※

ヒキガエルの仲間はステロイド系の強力な毒があり、強い刺激や危険を感じると耳腺や体中のイボから白い液体を分泌し、時には噴出することもあります。目に入れば最悪の場合失明、口にすると神経や循環器系の発作症状が出る場合もあるので触る際は十分気を付けてください。ちなみに素手で毒液に触れても（私は）大丈夫ですが、べったべたになります。

令和2年度 もりふれ倶楽の部の歩み

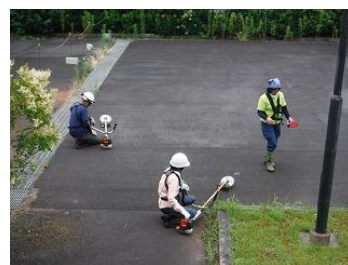
7月10日（金）江津市立江津東小学校対応

江津市立江津東小学校4年生に対して、学校林の中で「森の話」と「ネイチャーゲームの指導」を行い、林内で集めた葉っぱや木の実枝などを使って、A3の紙に絵を作り、デジカメで映して映写会をしました。



7月11日（土）第2回里山生活塾

ふるさと森林公園において第2回里山生活塾「目立てからはじめるチェーンソー実践講座 初めの方でも大歓迎」を開催しました。2チームに分けてチェーンソーの構造・目立ての仕方・安全な持ち方の指導を行いました。



7月12日（日）第3回里山生活塾

ふるさと森林公園において第3回里山生活塾「初心者やはじめての方向けの刈り払い機実践講座」を開催しました。エンジンのかけ方や刃の取り付け方、刈り払い機の安全な作業方法の仕方等を学んだあと実践を通して指導を2チームで行いました。



7月13日（月）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校において環境福祉コース3年生42名に対して「竹林整備と利用を考える」の講義と竹を使った「バランストンボ」の指導を行いました。



7月18日（土）森林ボランティア（うぐいす山）

出雲郷保育園うぐいす山において「1日限りの作業班」シリーズの1環として、竹藪の整備をおこないました。



7月21日（火）緑の少年団出前講座9（仁摩小学校）

太田市立仁摩小学校1年生23名と2年生25名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、1年生には「森林保全の大切さ」の講義と「木切れ工作」2年生には「森林保全の大切さ」の講義と「樹木観察」の指導を行いました。



7月25日（土）森林ボランティア（来島小学校）

飯南町立来島小学校学校林において「1日限りの作業班」シリーズの1環として、広葉樹ゾーンの下刈りを行いました。

8月1日（土）第5回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において第5回大人のための自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。どうぞご覧ください。

8月2日（日）第4回里山自然塾

島根県主催の第4回里山自然塾「竹と私の絆パート2～竹おもちゃパラダイス」を参加者18名で実施しました。マダケやメダケを使って、竹の皿や水鉄砲や笛を作り、出来上がった水鉄砲は勢いよく水が飛び、また笛の音色もすてきでした。作業が終わった後、「里山の竹問題」についての話をしました。



8月10日（祝・月）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座特別編「竹で水てっぽうをつくり、川で遊ぼう！」を県民の森において、参加者11名で実施しました。



8月23日（日）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座「間伐材の丸太で椅子作り」を県民の森木工室において、参加者19名で実施しました。



8月29日（土）森林ボランティア（出雲商業高校）

島根県立出雲商業高等学校「木育の森」において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、下刈りと危険木の間伐をおこないました。



8月30日（日）第3回里山生活塾

島根県立ふるさと森林公園「里山生活塾」第4回「木を安全に無理なく切るためのチェーンソー講座」を開催しました。丸太を使って、チェーンソーの安全で体にフィットした無理のない作業方法の指導を行いました。



9月2日（水）松江市立出雲郷保育園対応

松江市立出雲郷保育園の先生たち8名に対して、草花遊びに関するレクチャーを行いました。



9月5日（日）、松江市楽山再生イベント

緑化活動普及啓発事業「楽山再生」市民ボランティアイベント「楽山公園竹林整備ボランティアと竹焼き米粉ケーキでお茶会」を実施しました。参加者28名は楽山公園内の竹林の整備を行い、その後竹筒で焼いた米粉ケーキを頂きました。



9月6日（日）第5回里山自然塾

島根県主催の第5回里山自然塾「里山派バンダナづくり～草木染の基礎体験～」を参加者20名で実施させていただきました。オニグルミ・キハダビワ・ヤマモモで染めた布を銅・鉄・ミョウバンの媒染液で染めました。4種類の染液と3種類の媒染液で染めた中から、自分たちが染めたい染液と媒染液を投票で選びました。結果ビワとオニグルミの染液と銅の媒染液が選ばれました。



9月8日（火）緑の少年団出前講座10（志々小学校）

飯南町立志々小学校生徒に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、3年生以上12名には「森林保全」の講義と3、4年生5名には「森林保全」の講義と川の学習」の指導を行いました。

9月9日（水）緑の少年団出前講座11（静間小学校）

大田市立静間小学校生徒に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として1、2年生20名と3年生23名には「森のお話」と樹木学習、5年生12名には「森のお話」と「川の学習」の指導を行いました。



9月10日（木）出雲商業高校対応

島根県立出雲商業高等学校生徒に対して「森林保全の大切さ」の話と「伐倒・集材体験」を指導しました。

9月11日（金）松江農林高校対応

島根県立松江農林高等学校総合学科2、3年生に対して、楽山公園の整備を題材に里山の竹問題に関する理解を深め、竹の利用と竹管理のあり方について指導しました。



9月12日（土）第6回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において第6回大人のための自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。どうぞご覧ください。



9月12日（土）川本町チェーンソー研修

川本町主催、「林業担い手育成支援研修」Aコース 楽に切れる目立てと安全なチェーンソー作業の姿勢研修、Bコース 丸太を使った玉切りや安全正確性格な伐倒のための研修、Cコース 立木の伐木造材研修を実施しました。

9月14日（月）緑の少年団出前講座12（赤屋小学校）

安来市立赤屋小学校1～6年生に対して、「緑の少年団等への出前講座」事業として、1、2年生5名に「森林保全の話」と「ネイチャーゲーム」3、4年生10名に「森林保全の話」と「和紙作り」5、6年生16名に「森林保全の話」と「森林作業体験」の指導を行いました。



9月15日（火）緑の少年団出前講座13（鍋山小学校）

雲南市立鍋山小学校において、「緑の少年団等出前講座」事業として、1、2年生18名に「森林保全の話」と「木切れ工作」、5、6年生16名に「森林保全の話」と「川の学習」の指導を行いました。

9月16日（水）江津市立江津東小学校対応

江津市立江津東小学校4年生に対して、第2回森林教室として「島根の人工林について学び（どうやってつくるのか？良い森・悪い森は？未来に向けて！）間伐材から和紙を作る」をテーマに「人工林のお話」と「和紙作り」の指導を行いました。





9月17日（木）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校3年生42名に「島根について」の講義と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。

9月18日（木）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校2年生40名に「生物多様性について」の講義と「木の実工作」の指導を行いました。



9月21日（土）「里山生活塾」現地編第2回

「里山生活塾」現地編 第2回「秋の恵みを採りに出かける」を佐田町吉野の山林で実施しました。森林インストラクターの案内でキノコ採りをし、採取したキノコを試食したあと、採取したキノコの名前を調べました。



9月20日（日）「里山生活塾」第5回

島根県立ふるさと森林公園「里山生活塾」第5回 秋の里山の恵みを調理し、食べる「里山収穫祭」を開催しました。参加者15名で、午前中に糸瓜とみょうがの酢の物・ナスとキュウリの味噌炒め・きのこ鮭の中華蒸し・パンプキンスープを作り、午後からは小豆ときな粉のおはぎを作りました。

9月22日（火）樹木医による樹木診断研修

城山公園において「樹木医による樹木診断研修会」を島根県樹木医会の方の指導で行いました。



9月23日（水）緑の少年団出前講座14（佐世小学校）

雲南市立佐世小学校4年生12名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の話」「和紙作り」「川の学習」の指導を行いました。



9月25日（金）飯南町立来島小学校対応

飯南町立来島小学校1・2年生に対して「緑の募金事業」として、「自然の中の探し物」の指導を行いました。

9月26日（土）～9月27日（日）島根県森林インストラクタースキルアップ研修

（一社）島根県森林協会主催で益田市匹見町で開催された「島根県森林インストラクタースキルアップ研修～テーマ森林環境教育」の企画・運営をさせていただきました。



9月28日（月）みーもスクール 第2回西小学校

雲南市立西小学校4生33名に対して、第2回みーもスクールとして「森林作業体験～学校～林での間伐・枝打ち等の体験」の指導を行いました。



9月28（月）緑の少年団出前講座15（八雲中学校）

松江市立八雲中学校生64名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として「森林保全の大切さ」の講義を行いました。

9月30日（水）み〜もスクール 第1回布部小学校

安来市立布部小学校3・4年生5名に対して、第1回み〜もスクールとして「森林教室」として「新保全の大切さ」の話と「竹細工（ガリガリプロペラ）」の指導を行いました。



10月2日（金）松江農林高等学校対応

島根県立松江農林高等学校生徒に対して、来島公民館とセラピーの森・松江農林高等学校林において「森林保全の大切さ」の話と「樹木学習」、「伐倒体験」について指導しました。

10月4（日）しまね県民の森ふれあい講座

しまね県民の森ふれあい講座 「すべて竹だらけのアウトドア体験～竹筒ご飯、竹皿、竹箸、竹焼米粉ケーキ～」を県民の森において参加者15名で実施しました。オリエンテーションの後、竹でご飯を炊く釜と皿、箸を作り、出来上がった竹筒にご飯をいれ、炭火で竹筒ご飯を作りました。ご飯を食べた後は自然観察に出かけ、にょいにする自然物を探しました。散策が終わると竹筒で焼いた米粉ケーキを頂きました。



10月5日（月）緑の少年団出前講座16（鹿島中学校）

松江市立鹿島中学校1年生40名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の大切さ」の話と「和紙作り」の指導を行いました。

10月6日（火）緑の少年団出前講座17（桜江小学校）

江津市立桜江小学校4年生19名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の大切さ」の話と「樹木観察」の指導を行いました。



10月6日（火）緑の少年団の出前講座18（窪田小学校）

出雲市立窪田小学校3・4年生15名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の大切さ」の話と「和紙作り」の指導を行いました。



10月7日（水）緑の少年団出前講座19（荘原小学校）

出雲市立荘原小学校4年生71名に対し「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の大切さ」の話と「和紙作り」、「木切れ工作」の指導を行いました。

10月8日（木）み〜もスクール 第2回安布部小学校

安来市立布部小学校1・2年生6名に対して、第2回み〜もスクールとして「森林教室」として「森の探検」と「森の美術館」の指導を行いました。当日は雨が降りましたが、カッパを着て傘をさして、学校林へ探検に出かけ途中オオバコで相撲をしたり、字の書ける葉っぱを見つけ、字を書いたりしました。



10月9日（金）緑の少年団出前講座19（八川小学校）

奥出雲町立八川小学校5・6年生18名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の大切さ」の話と「飾り炭」の指導を行いました。



10月10日（土）第7回大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において第7回大人のための自然観察会を行いました。この日見られた植物の写真は、学習展示館に掲示しています。どうぞご覧ください。



10月11日（日）第6回里山自然塾

島根県主催の第6回里山自然塾「自然のキノコ大発見～キノコの見分け方実践講座」を参加者20名で実施しました。



10月12日（月）み～もスクール 第3回に西小学校

雲南市立西小学校4生33名に対して、第3回み～もスクールとして「和紙作りの体験」の指導を行いました。



10月13日（火）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校2年生に「森林・林業体験研修」として「森林でのネイチャーゲーム」「人工林に生える特徴的な樹木学習」「間伐と造材の体験」「PCウインチによる集材体験」の指導を行いました。



10月15日（木）安来市立赤屋小学校対応

安来市立赤屋小学校1・2年生5人に対して「緑の募金事業」として「森の美術館」の指導を行いました。学校の周辺へ出かけ、葉っぱや木の実、小枝などを採取し、教室に帰って採取した葉っぱや小枝等を使って紙の上に、思い思いにデザインし、出来上がった作品を発表し合いました。



10月16日（金）緑の少年団出前講座21（福井小学校）

海士町立福井小学校5・6年生18名に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として、「森林保全の大切さ」の話と「飾り炭」の指導を行いました。

10月17日（土）「里山生活塾」現地編 第3回

（公社）島根県緑化推進委員会緑の募金公募事業として、「里山生活塾」現地編第3回「広葉樹伐倒とナメコ生産」を佐田町吉野で開催しました。広葉樹を切り倒し植菌ができるようにチェーンソーで細断を行い、ナメコの植菌の指導を行いました。



10月18日（日）「里山生活塾」第6回

島根県緑化推進委員会緑の募金公募事業として、島根県立ふるさと森林公園「里山生活塾」第6回 熾火を活用し、ホイル焼き・網焼き・竹筒での炊き込みなどの調理法で新感覚の里山グルメを一緒に楽しむ「1日里山グルメ職人・熾火料理を極める」を開催しました。

10月21日（水）緑の少年団出前講座22（安田小学校）

益田市立安田小学校生徒に対して「緑の少年団等への出前講座」事業として「森林保全の大切さ」の話と「ネイチャーゲーム」の指導を行いました。



10月22日（木）出雲西高等学校対応

出雲西高等学校3年生42名に対して、「森林・林業体験研修」として「島根の森林・林業」「3人の篤林家」「幼竹を使ったメンマ作り」についての講義と「間伐と集材の体験」の指導を行いました。



もりふれ倶楽部今後の予定2021 1～3月

※今回は、新型コロナウイルス対策のため里山自然塾等の主要イベントは参加者を絞って実施のため、年度内はすべて定員に達しており、この欄への掲載は控えさせていただきます。

1月11日（祝・月） 9時30分～15時 会員限定研修会（午後コースの最後まで研修に、ご参加の方に燻製をお産にプレゼントします。尚、途中で帰られる方には、申し訳ないですが差し上げられませんので、ご了承ください。）

参加費：全コース無料 午前コース 9時30分～11時30分
午後コース 13時～15時

※ 昼食にはカレーライスを用意します。研修参加者は無料です。

会場：ふるさと森林公園

研修コース：1. 燻製職人弟子入りコース（このコースは、記載時間より早いスタートとなります。）指導：野々村俊成、竹田正彦

注. このコースは終日参加のみで朝8時集合です。

2. リレー自然観察会 冬の自然を学ぶ

指導：中村正志（午前） 池田友紀（午後）

3. チルホールを使った伐木造材研修

（午前）広葉樹 （午後）マツクイ枯損木

指導：響繁則、豊田真樹子、野田真幹

15時から全員でお茶会をして、燻製を分けて、15時30分ごろ解散します。

1月11日（月・祝）9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円（今回に限り会員は無料）持ち物～カメラ持参をお勧め
前日正午まで申し込みをお受けします。

1月17日（日）9時30分～15時30分「女性のための森林・林業講座～「森のひびきさん」こと「森の名手・名人」響繁則氏がナタ・鋸・斧・トビ・林業梯子と安全带等の林業基本道具から薪割り機、シイタケ植菌ドリル等に関する基本知識や安全な使い方を山仕事に関心を持つ女性に丁寧にレクチャーする。植菌したシイタケ

原木を1本持ち帰れます。

会場：ふるさと森林公園と園内

☆参加者募集中：参加無料 定員10名（申し込み順※ただし女性限定）

1月23日（土）10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：うぐいす山竹整備
9時50分 松江市出雲郷公民館駐車場集合

☆参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫・ある方はヘルメット・チェーンソー・
鉋・鋸等

前日正午まで申し込みお受けします。会員の方には、交通費補助2千円を支給
します。場所のわからない方はご相談ください。午後からはまつえ環境市民会議
のメンバーも合流します。

2月11日（木）10時～15時 第2回 故栗栖誠氏の山林復興ボランティアイベント

日本林業技士会島根県支部・島根県県林業研究グループ連絡協議会共催イベント

集合：栗栖山林入り口9時50分または、道の駅浜田夕陽パーク駐車場下段9時30分

※申し込み時に上記どちらに集合するか表明願います。

☆参加者募集中：刈り払い機を持った10人の侍募集 参加無料 定員約10名（申込み順）

※刈り払い機2千円補助＋車両（軽トラック・軽ワゴン・その他4輪駆動車等）5千円補助

持ち物～ヘルメット・作業関連の道具・雨具・飲み物・弁当・認め印

2月13～14日（土・日）両日とも10:00～15:00

島根県森林インストラクタースキルアップ研修 研修テーマ「SDGsと森林」

メイン講師：佐藤仁志

月日	時間帯	プログラムタイトル	内 容 等
2月13日	10:00～10:10	開校式等	
	10:10～11:10	SDGsと森林	座学：SDGsと森林の基本的事項について学ぶ
	11:10～12:20	SDGsと生物多様性	野外活動：野外で生物多様性について学ぶ；生物多様性が学べる現場を探し出し、プログラムを作成する
	12:20～13:30	昼食	
	13:30～15:00	生物多様性プログラム発表会	室内活動：作成したプログラム案を班ごとに発表する
2月14日	10:00～10:10	集合場所から研修地まで移動	研修地出雲市佐田町反辺まで移動
	10:10～11:45	フィールドでSDGsについて学ぶ	野外活動：イズモコバイモ自生地やカツラの巨木などから学ぶこと
	11:45～13:00	昼食休憩	窪田集会所へ移動し昼食休憩
	13:00～13:15	集合場所から研修地まで移動	研修地出雲市佐田町吉野林地へ移動
	13:15～14:45	フィールドでSDGsと森林について学ぶ	野外活動：3班に分かれ、里山の森林から学ぶSDGsについて考える

	14:45～15:00	全体のまとめ	野外:2日間の振り返りと分かち合いを行い、研修を修了する
--	-------------	--------	------------------------------

※ もりふれ倶楽部会員であれば島根県森林インストラクター以外の方も参加できます。

参加費：500 円

※ 希望者は両日とも各 1,000 円で昼の弁当を準備します。申し込み時にご依頼ください。

2月20日（土）9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

3月6日（土）9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

自然観察会（自然を撮ろう！カメラを持って集まろう！）。植物を学びたい方も是非。

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。

☆参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。



もりふれ倶楽部会報

NO. 62

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

メール morifure@coffee.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.morifure.jp/>